

## 献呈の辞

メタデータ	言語: jpn 出版者: 明治大学法律研究所 公開日: 2011-02-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 保住, 昭一 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10291/9262">http://hdl.handle.net/10291/9262</a>

## 献呈の辞

島田正郎先生は、明治大学総長・理事の任期が満了となる本年三月末をもって専任教授を定年退職される。そこで、これを記念して、われわれ法律論叢の同人たちが相集って論文集を刊行し、これを先生の座右に献呈することとなったことは、まことに慶賀に堪えないところであります。

先生は、昭和一四年三月に東京帝国大学文学部東洋史学科を卒業され、すぐに外務省文化事業部補給生として中国の北京に留学され、帰国後同省所管の東方文化学院の研究員に任命され、同時に東京帝国大学文学部研究嘱託として、中国・内蒙古の野外調査に従事されております。その後昭和二二年四月に明治大学講師（旧制法学部・専門部法律科）に任命され、翌二三年一〇月に専任助教教授に、同二六年一〇月に専任教授（新制法学部）に就任され、以来今日にいたるまで東洋法史の講座を担当されてきたのであります。先生が明治大学の専任助教教授に就任された当時は、わが国の大学制度が学制改革によって新制度に移行する頃であり、先生は、それより数えて実に四〇年の長い歳月を明治大学の教壇に立ってこられたことになりました。

このように、島田先生は多年にわたって明治大学法学部の教育並びに研究指導に尽力されてきたのでありますが、その間に、教務部長、図書館長、法学部長、大学院長の要職を歴任され、さらには学校法人明治大学評議員、評議員会副議長、総長、理事として明治大学の学校行政にも力を尽くされ、その功績は極めて大なるものがあります。

先生の卓越した研究業績は、ご専攻の東洋法史学および北アジア史の分野における多数の著書・論文に現われており、これが学界に対して輝しい貢献をなしていることは、いまさら申し上げるまでもないところであります。このような研究成果を基礎として、先生の指導を受け、その豊かな学殖を吸収した幾多のすぐれた人材が学界で活躍していることも周知のとおりであります。現在も少しも衰えぬ情熱をもって学問に精進しておられる先生のお姿に接するとき、先生が本年三月末をもって定年退職されることは、制度上止むを得ないこととはいえ、まことに痛惜に堪えないものがあります。

われわれは、先生のより一層のご健勝をお祈りするとともに、わが法学部並びに明治大学の発展のために今後ともお力添えを賜わらんことを願いつつ、ここに献呈の辞といたします。

昭和六三年三月

法学部長 保 住 昭 一